



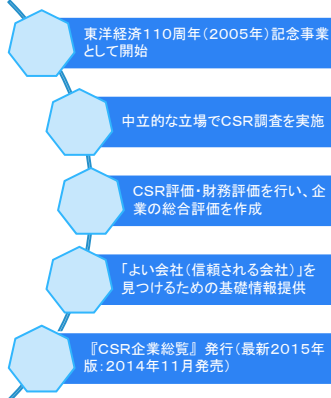
10回の東洋経済CSR調査から見えてきた 日本企業のCSRの変化と将来の姿

2015年7月14日(火)

株式会社東洋経済新報社 『CSR企業総覧』編集長
岸本吉浩

東洋経済CSR調査は10周年

■ 東洋経済CSR調査の特徴



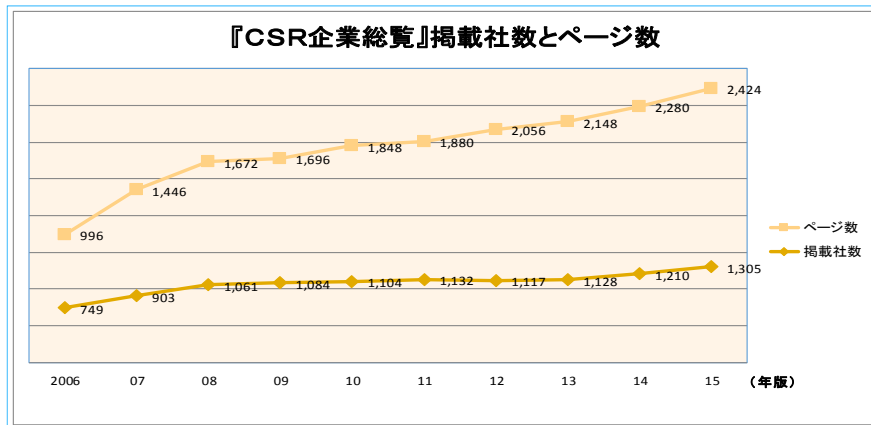
集めたデータは
すべて掲載

掲載情報

- 会社基本データ
- CSR&財務評価・格付け
- CSR全般
- ガバナンス・法令
順守・内部統制
- 雇用・人材活用
- 消費者・取引先
対応
- 社会貢献
- 企業と政治の
関わり
- 環境

ランキング作成

1社当たりの開示情報が増えている



CSRの認識はかなり異なる

一般の認識

- 法令順守(コンプライアンス)
- 寄付やイベントなどの社会貢献活動
- 環境活動
- 「働きやすい会社」への取り組み

東洋経済の認識

- 企業が長く存続するため(「信頼される会社」になるため)に必要な活動
- コンプライアンスや社会貢献・環境なども重要
- 働きやすい環境も重要
- 企業活動による負の面の対応
- 社会課題解決なども求められる
- グローバルの動きにも対応すべき

教科書的な認識

- 「企業の社会に対する責任」
- 「企業の社会への影響に対する責任」(EU)
- 「社会に与える影響から生じる責任」(ピーター・ドラッカー)
- 「社会が抱える矛盾から生じる責任」(ピーター・ドラッカー)

↓
 余裕がある会社の活動 CSRは「よい会社」選びの基礎情報

「よい会社」とは？

誰にとって？

- 消費者
- 従業員
(就活生)
- 株主
- 取引先
- 地方自治体
- 銀行

どんな基準？

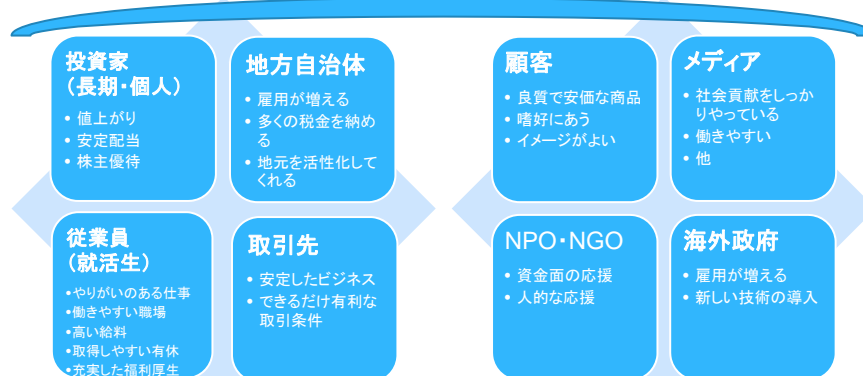
- 商品満足度
(価格)
- 働きやすさ
- 配当の多さ
- 取引条件
- 地元への貢献
- 返済能力

どのように見ることが出来る？

- 定量的
- 定性的
- ひとつの指標
- 総合評価
- 比較可能
- 公開・非公開

「よい会社」の基準はさまざま

ステークホルダー



サステナビリティ(持続可能性)はいずれも重要
その判断に必要な「CSR情報」

10年前のCSRはどうだった？



創刊号『CSR企業総覧』2006年版を振り返る

- 雇用・人材活用面のデータを重視
- 環境面は多い
- 地域・社会・国際貢献の情報量が多い
- 国内の活動がほとんど
- ガバナンス情報が少ない



現在の一般的な認識のCSRに近かった

10年で大きく変わったCSR

CSRに関する新しいルールが次々と登場

- ISO26000
- 欧州での非財務情報開示義務化への動き
- 投資家のESG情報開示要求（統合報告）
国内でも開示拡大の動き
- サプライチェーンでの問題拡大
- 人権問題
- 社会課題解決への期待

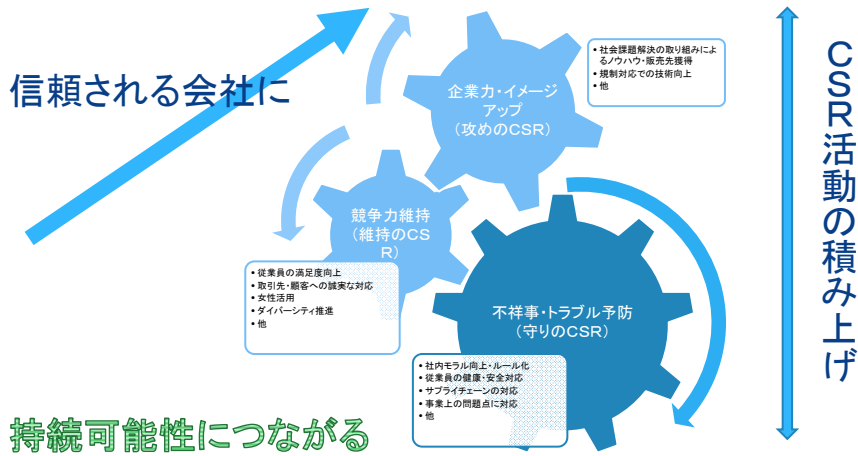


「よい会社像」がグローバルで統一される動き

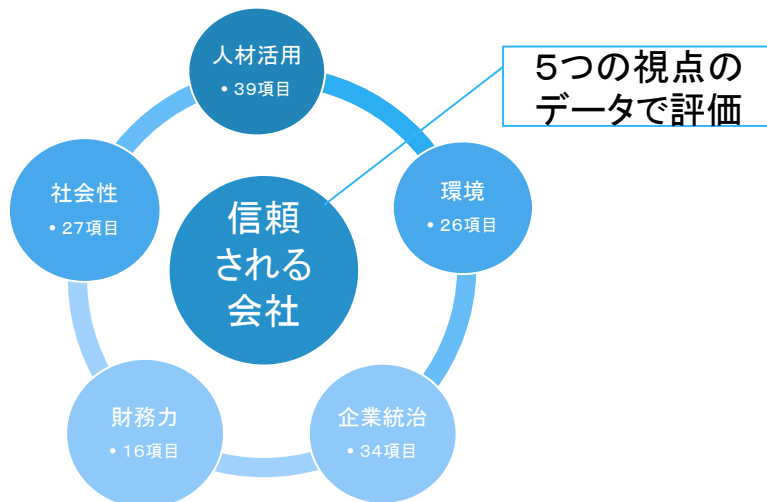
- 環境対応だけ、税金を払うだけが「企業の社会的責任」という時代の終わり
- グローバルな動きに対応しなければビジネスができなくなる
- リスク対応面が多い
- 社会課題の解決を期待する声も多い
- 地方政府（国内・海外）の肩代わりという期待もありそう

「した方がいい」から「行わなければならない」が急増！

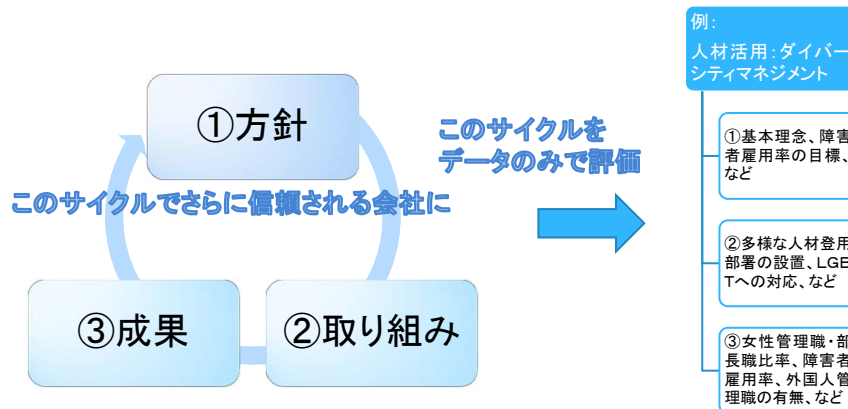
CSR活動でより強い会社になっていく



CSR企業ランキング5つの視点



評価項目は3つの視点で決定



2015年版CSR企業ランキング

順位	社名	総合ポイント (600)	人材活用(100)	環境(100)	企業統治 + 社会 性(100)	財務(300)
1	富士フイルムホールディングス	576.4	98.7	94.4	97.4	285.9
2	NTTドコモ	571.2	92.1	90.1	95.5	293.5
3	デンソー	567.9	89.5	97.2	94.2	287.0
4	富士ゼロックス	565.9	92.1	94.4	93.5	285.9
5	日産自動車	564.7	97.4	100.0	92.2	275.1
〃	コマツ	564.7	96.1	93.0	94.2	281.4
7	キヤノン	563.7	84.2	97.2	91.6	290.7
8	トヨタ自動車	562.7	90.8	97.2	95.5	279.2
9	ブリヂストン	561.6	88.2	97.2	95.5	280.7
10	リコー	561.1	89.5	98.6	100.0	273.0

2015年版CSR企業ランキング 中堅企業版(売上3000億円未満)



順位	総合順位	社名	総合ポイント(600)	人材活用(100)	環境(100)	企業統治+社会性(100)	財務(300)
1	71	アシックス	523.6	96.1	88.7	89.0	249.8
2	73	アズビル	522.6	90.8	93.0	90.3	248.5
"	73	NECネットエスアイ	522.6	89.5	91.5	93.5	248.1
4	86	ファンケル	518.9	90.8	87.3	96.1	244.7
5	106	日立国際電気	510.0	82.9	87.3	92.2	247.6
6	107	協和エクシオ	509.7	84.2	85.9	89.6	250.0
7	111	SCSK	508.7	100.0	77.5	91.6	239.6
8	120	日新電機	505.5	81.6	93.0	86.4	244.5
9	123	アンリツ	505.2	81.6	88.7	88.3	246.6
"	123	ウシオ電機	505.2	81.6	90.1	85.7	247.8

他にもいくつかの総合ランキングを作成



ホワイト企業
ランキング

- CSR評価のみでランキング
- ROEで足切り(昨年は10%)

ホワイト企業
ランキング
中堅版

- CSR評価のみでランキング
- ROEで足切り(昨年は10%)
- 売上高3000億円未満が対象

女性が働き
やすい会社
ランキング

- 雇用・人材活用データで作成
- 男女かかわらず働きやすさを見るデータで評価
- 女性の活躍度を重視

ランキングは会社選びの一次情報

- 知らない企業を知るためのきっかけ(総合評価)
- 眺めることで発見がある
- 気になるところはさらに調べていく

CSR企業ランキングを使っているのは誰？

- 就職活動中の学生
- 個人投資家(期待)
- 大学の先生や大学院生
- 専門家？
(CSR評価はMS-SRIなどで使われているが・・・)

就活でのランキング活用法

■参考

『CSR企業総覧』2015年版 集計
2014年4月入社：大卒58,708人

- CSR企業ランキング
- CSR企業ランキング中堅企業版
- ホワイト企業ランキング
- 女性が働きやすい会社ランキング

総合評価

強みを確認

- 法令順守(コンプライアンス)
- 働きやすさ
- 環境活動
- 財務

- 平均給与
- 有給休暇取得率
- 新卒3年後離職率
- 女性管理職比率
- 育児休業取得率

個別データ

効率のよい就職活動が可能に！

株式投資でのランキング活用法

- CSR企業ランキング
- CSR企業ランキング中堅企業版
- ホワイト企業ランキング
- 他にも多数

総合評価

強みを確認

- 働きやすさ
- 社会性
- 企業統治
(コーポレート・ガバナンス)
- 環境活動
- 財務

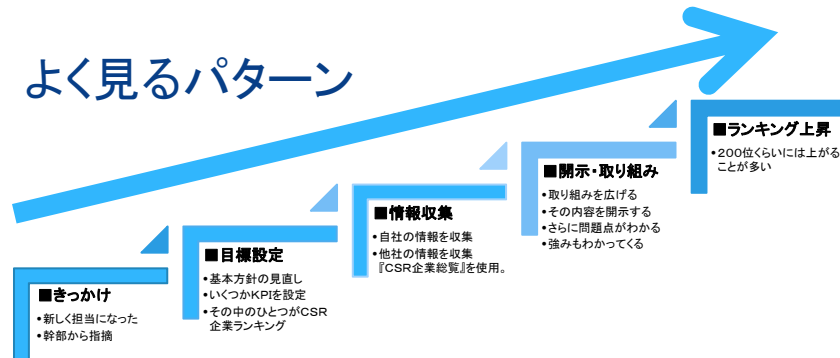
- ROE
- ROA
- PER
- PBR
- 株主優待
- 女性管理職比率

個別データ

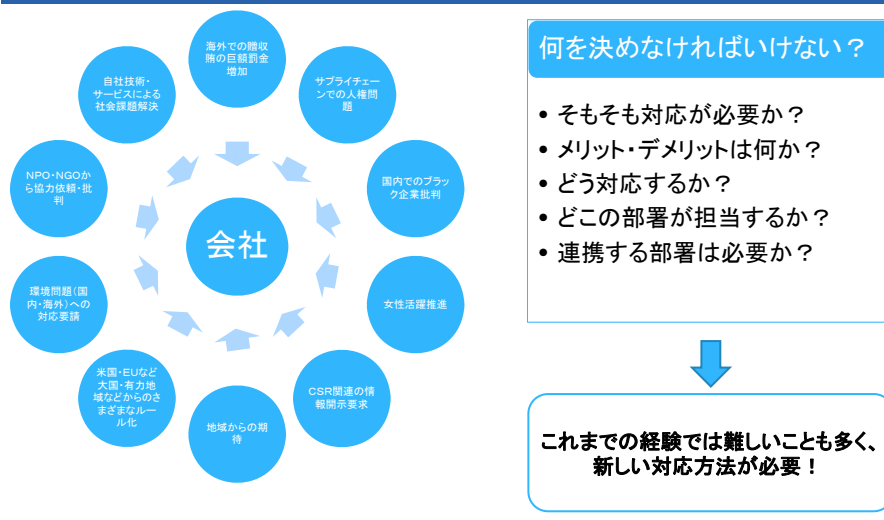
よい銘柄が選べる可能性がある？

CSR企業ランキング上昇企業の例

よく見るパターン



これまででない 外部からのさまざまな期待(圧力)が



重要な役割を担うCSR部署

企業のさまざまなリスク・機会の社内専門家集団へ

グローバル・国内のリスクになりそうな点を早期に把握

社会課題のニーズを企画化

社内の非財務情報の集約・整理

経営企画や広報・IRと連携

今はモヤモヤとしているが、さらに10年経てば変わってくるのでは？

- 対応・取り組み
- ビジネス化
- コミュニケーション
- 情報開示

企業価値向上

CSR担当者に今後求められるのは？

- 広い視野からの自社の事業活動の分析
- リスク・機会両面での的確な把握
- CSR最新情報の社内への提供
- 特にわかりにくい海外からの情報をわかりやすく報告
- A3 10枚の調査票でも嫌にならない根気

※東洋経済CSR調査締め切りは8月11日です

東洋経済CSR調査の今後

- 非財務情報は公開情報も活用していく方向に
コーポレートガバナンス・コードがきっかけに。
- 使える情報・DBへ
東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー(DCL)
コーポレートガバナンス・ESGデータ
- CSR調査・評価は数年内に大きな見直し？
- 役立つ非財務情報提供は今後も続けます

※今後も東洋経済新報社をよろしくお願いいたします

ありがとうございました。

Thank you !